きょうも元気に！《活動報告News》

日本共産党　京都市会議員

河合ようこです。

No. 266
2017年10月1日
日本共産党西地区委員会
311−4704
西京生活相談所
392−3546
ホームページ
http://kawai-yoko.jp/

9月市会はじまる！

就学援助の新入学準備金（小学校・中学校）入学前に支給！ 今年度補正予算で～

（新入学児童生徒学用品費）

9月21日から9月市会が始まり、22日には今年度の補正予算を審議し、27日に補正予算は全会一致で可決されました。

補正予算には、就学援助の新入学準備金を入学前に支給するためにかかる経費一億円が計上されました。入学準備金は今年4月から支給額が増額されましたが、入学準備の時期には間に合わないことが課題でした。日本共産党市会議員団は、これまでから入学準備金の増額と入学前の支給を繰り返し求めてきました。今回の措置を評価するとともに、支給後に返還金が生じる可能性があるという課題について改善を図るよう求めました。

「明治150年京都奇跡のプロジェクト」、マイナンバーカード等への旧姓併記に係るシステム改修、宿泊税導入に係るシステム改修、介護基盤の整備助成、安井児童館の移転整備費などが計上されました。党議員団は、マイナンバーカードの問題点や新税宿泊税創設は課題が多く、検討し直すべきこと等を27日の本会議の討論の中で指摘し、賛成の態度を表明しました。

また、27日の本会議では、市議団団長はじめ、こくた恵二衆院議員が出席しました。こくた恵二議員は、国への申し入れで明らかになった問題（一）政府自身が政省令で一定、民泊の規制が必要だと認識していること。（二）自治体として規制が可能であり、京都の実情から現時点で①防火対策として木造密集地域は認めない②住宅専用地域には認めない③マンションは管理組合がOKでないと認めないという規制が必要。（三）京都市の体制強化が問われている！等を述べ、記者の質問にも答えました。

大原野のフジバカマとかかし

憲法改悪も消費税増税もSTOP！安倍政治NO！

吉田幸一（衆院京都4区）国政委員長さん熱い訴え

9月23日 桂駅西口では、「安倍政権に審判下そう」「年金など社会保障の充実。最低賃金ら上げよう」の訴えに、ビラ受取りも良く、アベ政治を変えたいの思い強く！

「違法民泊」対策の強化を

日本共産党市議団と国会議員団は、9月11日、急増する「違法民泊」や違法な簡易宿所が住民の安全を脅かしている問題で、国土交通省と厚生労働省に対し、取締り強化などを求めました。（国に対する要望書の詳細は市議団ホームページをご参照下さい）

また、この日の結果について13日に記者会見を行いました。記者会見には、山中治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟西京支部のとりくみに参加し、原田完府議のお話をききました。原田さんのお母さんは治安維持法違反で何度も投獄されたということでした。この悪法で生命を奪われた人たちは、どんなに無念だったことかと思っていましたが、この日衝撃だったのは、転向した人も釈放された後も、心を病んでPTSDなどで苦しんでこられたという事実です。「現代版治安維持法」"共謀罪"など憲法を踏み破って平気な安倍首相は、衆のこの二つが皆さんに届く頃、国会を解散か。必ずNOの審判を！

（写真 中央が原田府議）